

東京芸術文化評議会 第3回江戸文化の魅力発信部会 議事概要

日 時	令和7年5月27日（火） 14:30～16:00
場 所	東京都庁第一本庁舎42階 特別会議室B
出 席 者	委 員：青柳正規委員（部会長）、伊藤裕久委員、大石学委員、小粥祐子委員、 近藤誠一委員、陣内秀信委員 事務局：片岡容子文化振興部長、石岡由江調整担当部長、伊東亜希子企画調整課長、 清水秀樹調整担当課長、齊藤圭祐連携担当課長、荒木夏奈渉外担当課長 計12名
欠 席 者	千田嘉博委員、西村幸夫委員
議 題	1. 江戸文化の魅力の整理について 2. 江戸文化の魅力発信について
配布資料	東京芸術評議会運営要綱 東京芸術文化評議会 江戸文化の魅力発信部会 委員名簿 その他非公表
要 旨	□ 議題1「江戸文化の魅力の整理」について 事務局：江戸の文化資源の魅力の整理について、資料に基づいて説明 委 員：東京に残る江戸の文化資源は、震災や戦災の影響などにより、江戸当時のまま現存するものは少なく、履歴や歴史的背景を丁寧に整理していくことが必要 委 員：世界遺産の対象となる文化資源の検討に当たっては、江戸の価値を学術的な根拠に基づいて特徴づけ、類型化していくことが重要 委 員：江戸当時から姿を変えた文化資源も、江戸由来であることに間違いないので、プロモーションに活用し、江戸の理解の深めることに繋げてほしい 意見交換の結果、江戸の文化資源について引き続き詳細の整理を進めることとなった。 □ 議題2「江戸文化の魅力発信」について 事務局：民間等と連携した江戸文化の魅力発信について、資料に基づいて説明 委 員：祭りや季節の行事は、有形をまとめていく上での1つのストーリーの軸にもなり得るので、こういう取組は賛成である 委 員：京都の「雅」に対し「粋」があり、今のシティボーイの生き方のようなもの。江戸に全国から人々が集まって生み出された特徴的な価値観である 委 員：江戸時代に、郊外も含め名所が多く生まれ、浮世絵や地誌等に登場するなど、栄えた 委 員：江戸博が世界遺産あるいは江戸の魅力をさらに具体的、濃密に発信する場として、非常にいい位置を占めていくだろうと期待ができる 意見交換の結果、更なる検討を行ったうえで、必要な予算要求につなげていくこととなった。 以上